

## 館長だより第31号（2022・3）

令和3年度冬期企画展「紀北の古墳群／紀中・紀南の単独墳—箱式石棺からみた紀伊の古墳—」は、2月27日に終了いたしました。とりわけ和歌山県で初めて蔓延防止に係る処置が発令されるなど、新型コロナ禍の中、お越しいただいた皆様方には感染防止対策にご協力をいただき、ありがとうございました。

ところで、去る2月13日には東京有楽町よみうりホールで、和歌山県と堺市の共催によって公開シンポジウム「大王墓と紀伊の首長墓」が実施されました。

当日は東京都などにも新型コロナ感染防止に伴う蔓延防止処置が発令中で、東京都においても1万人を超える感染者の報告が相次ぐ中での実施となりました。定員についても収容定員1100名に対し、募集定員550名とし、感染予防に配慮した形となりました。募集に当たってはネットでの事前申し込みとし、堺市のシステムを利用して行いました。

順調に応募があり、種々の困難や混乱がありましたが、多くが自宅での受信に変更され、当日ホールへ足を運ばれたのは、250名前後にとどまりました。ちなみに当日ウェブ配信を選ばれた方は最高600名を超えていたようです。従ってこれらを合計すると800名前後となり、当初の予定を満たしていたこととなります。

さて当日の様子について少し紹介しておきましょう。まず講師の先生方は午前10時に会場集合としていましたが、その時間以前にはすでに到着されていたようです。ホール9階の楽屋が集合場所となり、そこで参加者の間での種々打ち合わせがあり、さらに午前11時ごろからリハーサルが行われました。とくに各発表者の使用するパワーポイントなど資料の取り扱いに集中していたように思います。

当日のプログラムを以下に示しておきましょう。

まず挨拶として、和歌山県知事、堺市長、文化庁文化財第二課長と続きます。  
次に講演1「世界史における日本の古墳」松木武彦（国立歴史民俗博物館教授）  
報告1「百舌鳥・古市古墳群」十河良和（堺市世界遺産課長）  
報告2「岩橋千塚古墳群」丹野拓（和歌山県立風土記の丘学芸課長）  
講演2「5世紀から6世紀の古墳群から見た政治と社会」和田清吾（兵庫県

立考古博物館館長)

講演3「5世紀から6世紀の埴輪と儀礼」辰巳和弘(元同志社大学教授)

トークセッション

コーディネーター:松木武彦

パネリスト;和田清吾、辰巳和弘、中村浩道(県立紀伊風土記の丘館長)

挨拶;中村浩道

です。終了時間は午後4時30分で予定時間内に収まりました。当日YouTubeによりLive同時配信しました。

講演、報告、トークセッションの内容は、紀伊風土記の丘のHPからご視聴いただけますので是非ご覧ください。なお最後にこのシンポジウム開催に当たって準備等奔走された、和歌山県文化遺産課、堺市世界遺産課をはじめ関係された方々に厚く感謝いたします。

さていよいよ年度末になり、あわただしい動きの中で、3月1日から31日の予定で【スポット展示】「和歌山大学と岩橋千塚」(和歌山大学所蔵資料展)が資料館で開催中です。

わずか13点余りの展示ですが、陶質土器、鏡、馬具、刀剣など様々な採集品があり、興味深いものです。

3月19日からは春期企画展「古代【紀伊国】の成り立ち—奈良・平安時代のわかやま」と題して、6月19日までの予定で実施します。

日本列島の歴史の中で、新しい制度や思想が導入され、国家の形が次第に整えられていく飛鳥時代(7世紀頃)から、体系的な法律である「大宝律令」の制定や平城京への遷都により、律令国家が完成を見る奈良時代(8世紀)にかけては、地方の社会においても様々な変化がありました。

紀伊の国の行政の中心である役所「国府」の所在地として考えられる和歌山市府中は、畿内と各地方を結ぶ道路の一つである南海道の推定ルートに面しており、近年の発掘調査により関連施設とみられる8世紀頃の掘立柱建物跡などが発見され注目されています。このほか県内では、伊都郡、那賀郡、名草郡、在田郡、日高郡で大型建物や郡の役所である「郡衙」関連施設、寺院、集落など、飛鳥時代から平安時代の遺構が見つかっています。

これらの成果から文献史学で研究されてきた紀氏(紀直氏)などの氏族の動向や、律令国家の成立前後における地方行政機構の移り変わりについて、考古学

の視点からの研究が進められています。

本展示では遺跡から出土した瓦や役人たちが使用したと思われる<sup>すずり</sup>硯、文字の書かれた土器などの資料から古代の紀伊の国の役所や寺院を考えます。さらに土馬<sup>どば</sup>や人形<sup>ひとがた</sup>などの祭祀具、火葬墓に用いられた優美な蔵骨器<sup>さいしき</sup>など都の影響を受けたこの時代の文化を紹介します。これらから飛鳥時代（7世紀）から平安時代（10世紀）頃における古代の紀伊の国の成り立ちとその変化について考えたいと思います。

### 【主な展示資料】

府中遺跡（和歌山市）軒丸瓦【県立紀伊風土記の丘】

土師器皿、須恵器杯、製塩土器【和歌山市】

吉田遺跡（和歌山市）墨書土器、瓦【和歌山県教育委員会】

加太遺跡（和歌山市）須恵器、黒色土器【和歌山市】

西国分寺廃寺（岩出市）軒丸瓦、軒平瓦【和歌山県教育委員会】

紀伊国分寺跡（紀の川市）軒丸瓦、軒平瓦、鬼瓦【紀の川市教育委員会】

丁の町・妙寺遺跡（かつらぎ町）須恵器、硯、墨書土器、製塩土器【かつらぎ町教育委員会】

佐野寺址（かつらぎ町・県史跡）軒丸瓦、軒平瓦【和歌山県教育委員会】

堅田遺跡（日高郡衙跡）（御坊市）須恵器、円面硯【御坊市教育委員会】

且来IV遺跡（海南市）須恵器、円面硯【海南市教育委員会】

鳴神IV・V遺跡（和歌山市）墨書土器、円面硯、越州窯系青磁、緑釉陶器、灰釉陶器【和歌山県教育委員会】

秋月遺跡（和歌山市）須恵器、土師器、黒色土器、二決まる瓦、軒平瓦、墨書土器「太田」、「福」【和歌山県教育委員会】

稲成遺跡（田辺市）人形【和歌山県教育委員会】

川辺遺跡（和歌山市）土馬【和歌山県教育委員会】

鳴神地区遺跡（和歌山市）【和歌山県教育委員会】

青木古墓、和銅開珎、須恵器、火葬骨【和歌山県教育委員会】

吉田遺跡、神宮開寶、万年通寶、須恵器【和歌山県教育委員会・和歌山公園管理事務所万葉館保管】

大同寺墳墓、銅製蔵骨器（大同寺）

名古曾火葬墓、三彩壺（複製品）【橋本市教育委員会】

**【関連行事】**

春期企画展展示講座 令和4年4月17日（日）13:30～15:30

**【開館時間・休館日】**

開館時間；9:00～16:30（入館は16:00まで）

休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日または休日の場合は次の平日）

**【入館料】** 一般 190 円（20 名以上は団体割引 150 円）

大学生 90 円（20 名以上団体割引 70 円）

高校生以下、65 歳以上、障害者手帳などをお持ちの方及び県内在住の外国人留学生は無料（証明書の提示が必要）